

デザイン学部

デザイン学科教授 平田 哲生

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
re-design 展	2010. 5	常滑市	展覧会企画
常滑フィールド・トリップ 2010	2010. 10	常滑市	展覧会とプロジェクト企画運営
国際家具デザインコンペティション旭川 2011	2011. 1	旭川市	家具デザイン

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 デザイン基礎演習 <input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 工夫の概要 日用品など身近にあるものや、不要になったものを re-design して、文房具をデザインした。それらの展示販売を学内と常滑で実施した。また、空き缶を使ってピンホールカメラを作り、現像焼き付けまでを、観光客に体験してもらった。	先輩の学生が、今年の1年生を指導する形で、大学の常滑工房に暗室、展示会場をつくり、観光客向けのワークショップを実施。
教材・資料等の概要 ごく普通のもの、日用品を良く観察する。あまり特殊な加工を考えずに工夫して制作。	
授業科目 スペースデザイン実技Ⅲ <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 工夫の概要 こどものワークショップを学生達が企画運営。こどもの行動の観察を通して得たものを、こどもの空間、インテリア、家具デザインに生かす。	小学校の総合学習の授業を、デザイナーの卵である、3年生が担当した。常滑西小学校の先生と打ち合わせ、授業の企画と、進め方、伝え方などを全員で考え、道具、教材の準備をした。これらから学んだことをもとに、こどもの家具デザインをし、1/1の実物を大学の工房で制作した。
教材・資料等の概要 体の何倍かの巨大万華鏡をつくる。段ボールとミラーシートを使い、体全体で楽しむことができるものを制作し、小学校に持ち込んで体験してもらった。紙コップを使った1人用万華鏡を、2時間かけて1人ずつ制作体験。	
授業科目 スペースデザイン演習Ⅲ <input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 工夫の概要 夏休み期間中にもものづくりワークショップを常滑工房を使って企画。それらの中でクッキーワークショップは秋に実施された常滑フィールド・トリップ 2010 のプロジェクトで、カフェに取り入れられ、地元の人や、観光客に楽しんでもらった。	
教材・資料等の概要 クッキーの型を木の板と、プラスチックの板を加工して制作。その型を使い、窯焼きクッキー体験。	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他

チェアプロジェクト	2010. 4 ~ 2011. 3	(株) 天童木工から入るロイヤリティーを使ってフライング大学とチェアプロジェクトを実施。3月の卒業制作展期間中に展覧会実施。
アート & デザイン rin'	2010. 4 ~ 2011. 3	地域と創造をテーマに展覧会、さまざまなプロジェクトを企画運営。
(財) 名古屋市文化振興事業団 評議員	2010. 4 ~ 2011. 3	文化振興